

## ごあいさつ

熊本博物館「館報 No.33 (2020 年度報告)」の発刊にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

日ごろから、熊本博物館事業につきまして、ご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

令和 2 年度 (2020 年度) は、本市にとりまして、震災復興のシンボルとなる熊本城天守閣や長堀の復旧など、震災からの復興が一段と進んだ年となりました。また、それと同時に世界中で猛威を振るい続けている新型コロナウイルス感染症の対応に正面から向き合う年でもありました。

熊本博物館も、2 月 29 日から 5 月 20 日までの期間は臨時休館を余儀なくされ、再開後も施設の消毒や来館者の健康チェックをはじめ、展示会・イベントの中止、さらには講座・教室等の開催規模縮小など、感染防止のための様々な対応を迫られることとなりました。

そのような中、当館では、臨時休校となった子どもたちへの学習支援の取組の一環として、自宅や庭などで体験できる「自然観察や科学工作」のコンテンツを『くまはく おうちミュージアム』と題して、館公式のホームページ上で紹介したほか、「Twitter」「Facebook」「Instagram」「YouTube チャンネル」を新たに開設するなど、SNS を活用した情報発信の強化に努めてまいりました。

このように令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われながらも、ウイズコロナ・アフターコロナ時代の到来に向けた今後の館運営の在り方を模索し、そして、ピンチをチャンスに変えるべく新たな一歩を踏み出す契機の年となりました。

さて、熊本博物館は昭和 27 年 (1952 年) に創立され、来年には 70 周年の大きな節目を迎えます。これからも職員・スタッフ一同、長年蓄積されてきた熊本の歴史や文化、人と自然との深いかかわりを楽しくわかりやすくお伝えし、多くの皆さまに『愛され、親しまれる博物館』を目指してまいります。

引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 3 年 (2021 年) 6 月  
熊本博物館長 田端 文一